

2022年度西日本弁理士クラブ若手会主催 合格者交流会兼忘年会 開催報告

本年度の合格者交流会兼忘年会は、令和4年12月16日（金）に東梅田にあるピアバル・アレグレにて開催致しました。コロナ禍が続くものの、大阪府の要請に会食の人数制限がないこと等を考慮し、若手会主催のイベントとして久々にオフラインでのイベント開催となりました。

オフラインでの開催が久しくできなかった関係で、今回は令和2年、3年、4年の合格者を招待しての開催となり、合格者27名と西日本弁理士クラブ既会員30名、計57名の方々にご参加頂きました。

交流会では、運営委員の藤本賢佑の司会のもと、はじめにクラブ幹事長の北原宏修先生に開会のご挨拶を頂戴しました。続いて、日本弁理士会次期副会長であられる稗苗秀三先生からご挨拶と乾杯のご発声を賜りました。乾杯後、10分ほどのご歓談ののち、恒例の余興を開始いたしました。

余興では、若手会オリジナルの「ドキドキ知財しりとりゲーム」を行いました。1組8人程度のチームに分かれ、しりとり状に5個の単語を選出して、単語に割り振られるポイントを競いました。知財ワード（「特許」など）には高得点が振られる一方で、その知財ワードの中には大幅減点となるドボンが隠されており、マイナスポイントになるチームも現れる熾烈な争いとなりました。知財ワードか否かは、若手会リーダーの厳正なる審査に基づいて、判定されました。

2回戦目ではヒントを出したうえで、ポイントサービスワードを設定しました。すると、サービスワードに繋ぐために「ターミナルディスクレーマー」なるテクニカルなワードが頻出しました。各チーム、白熱した知財ワード選出会議をなさっていて、老若男女問わず交流を深められたのではと感じております。



交流会の最後には、本年度の若手会リーダーの金子愛子より挨拶をし、来年度、西日本弁理士クラブ幹事長を務められる藤田典彦先生に締めのご挨拶を頂戴しました。交流会にご参加いただいた皆様、開催にあたってご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

私はコロナ禍であった令和2年の弁理士試験に合格したのですが、リアルで人に会うことが制約される中、人脈を広げる難しさを感じてきました。最近やっとリアルで交流できる機会が増えてきており、オンラインに代えがたい良さを実感しております。

若手会では、今後も、皆様が楽しく交流できるようなイベントを企画してまいりますので、今後とも若手会の活動にご理解、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

報告：南部 洋一郎